



利根川強化堤防ボランティア

2023 年度 活動報告書

🌱 にこっと

学生環境推進委員会

Student Environmental Promotion Committee

日本工業大学

SDGs キャンプ in 日工大

テーマは「川の保全とごみの分別見直し」

春期間：5/17~6/26

秋期間：9/28~10/19

現在も活動継続中



定期開催



LC センターでWS



古利根川でごみ拾い

SDGs に興味のある学生が集い、社会課題解決に向けてワークショップを行うものです。今年は二つのテーマを掲げて活動しました。「川の保全」のため、古利根川流灯まつり後の清掃活動を行いました。また、「学内のごみの分別意識の向上」のため調査・課題抽出を行い、ポスターやごみ箱へのピクトサインを制作して改善を試みています。

EMS 推進協議会

開催日：9/21



会議の様子



学生の活動報告

学生環境推進委員会メンバーと学長をはじめとする環境推進委員会メンバーが本学の環境活動について報告及び意見交換をするために年に2回開催する協議会です。学生から大学に向けて環境向上の意見や要望を出し、委員会活動に対してアドバイスをいただいたりする貴重な機会となっています。

古着のリサイクルショップ in 若杉祭

開催日：10/28,29



展示の様子

大学祭である「若杉祭」において今年初めて挑戦した企画です。学生から不要になった洋服を回収し、必要としている人に無料で譲渡しています。当委員会が長年続けている「リサイクルショップ」をヒントに、リユースを促進することを目的としています。120着もの洋服が集まり、約100名の方にご来場いただきました。

回収枚数：120着、配付枚数：91着



エコプロ 2022

開催日：12/7,8,9

来場者数：3日間合計 (61,541人)

12/7 (21,411人)

12/8 (43,179人)

12/9 (61,541人)



開催ブース前で他大学の学生と交流

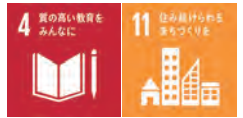


東京ビックサイトで毎年12月に行われる国内最大規模の環境系展示会イベントです。委員会の活動を広く広報する場として毎年出展しています。多数の他大学や企業の環境活動、SDGs 関連研究など幅広い知識を得ることができ、委員会メンバーの学びの場にもなっています。

エコキャンパスツアー

開催日：5/13

学生参加人数：20名



防災井戸水浄化装置の見学

学内の環境施設を見学して回ります。



1年生歓迎 BBQ

本学には、キャンパス全体で環境施設や研究成果など、環境へ及ぼす影響が目に見えるようになっているエコミュージアムがあります。それらの環境施設を見学し、毎日過ごすキャンパスに親しみを持ち理解を深めるツアーです。今年は1年生歓迎のバーベキューも同日行いました。

町内清掃

開催日：6/24 学生参加人数：17名



町内清掃中

回収したごみは分別して廃棄します。今回は、お菓子容器などのプラごみが多く、住宅地付近ではペットボトルやたばこの吸い殻が多く見られました。



最寄り駅である東武動物公園駅から日本工業大学までの通学路を中心に清掃する活動です。5班に分かれてそれぞれのコースを回り、分別しながらごみを拾います。昨年の12月は学生自治会および地域の方々と共に実施しました。今年の6月は新入生との交流の場にもなりました。

宮代町民祭り・安全美化委員会

開催日：8/19,20

学生参加人数：14名



SDGs カルタ



ミ三街づくり

宮代町で夏に開催される宮代町民祭りに児童向けの企画を毎年出展しています。今年はSDGsを遊び感覚で学べる「SDGs カルタ」、プラ板模型を使った「ミニ街づくり」、地域の方からいただいた竹を使った「竹のうちわづくり」の3つの企画を行いました。また、会場の清掃とごみの回収作業も行いました。

内部環境監査員養成講習会・内部環境監査

開催日：9/7,8 (講習会)、8/28 (内部環境監査)

学生受講者数：24名



講習会の様子



学内内部環境監査へ参加

ISO14001 内部環境監査員の資格取得を目指し、日本環境認証機構 (JACO) の講師の方をお呼びして受講します。合格者は、学内で行われる内部環境監査に監査員として実際に監査を体験できます。今年度は1年生を中心に24名の受講者全員が試験に合格しました。

利根川強化堤防ボランティア活動



- 環境保全活動 -

実施日：7/8,8/25,10/21
参加人数：3日間合計 33名



7/8 樹木調査

活動を始めたのは2014年5月。近隣の自治体やボランティア団体と共に、埼玉県が取り組んでいる利根川強化堤防ボランティア事業に参加する企画です。今までは植樹や除草、剪定作業を行ってきましたが、今年度からこれに加え、樹木の調査も始めました。また、(株)キャニコム様の支援を受け、乗用草刈りデモ機の体験試乗を行いました。



8/25 リモコン草刈り機「アラフォー傾子」の操作



8/25 乗用草刈り機「草刈りまさお」の操作

リユース傘

- 遊休品利用 -



傘の遊休品を活用したリユース傘は、誰でも自由に使用することができます。メンテナンスは私たち委員会メンバーが、梅雨時期は2週間に1回、その他の時期は1か月に1回、学内に設置されている24か所の傘立ての整備、傘の補充等を行っています。この活動に賛同いただいたアクサホールディングス・ジャパン様から492本の遊休傘を寄贈していただきました。

リユース傘ご利用案内
(Guide to using reusable umbrellas.)

突然の雨 / 困ったときは自由にご利用ください。

●リユース傘立て設置場所

利用方法
NIT SDGs
上記のNIT SDGsラベル貼付けの傘は自由に利用できます。お困りの際にはお気軽にご利用ください。
返却は、指定の傘立てへお願いします。

返却はリユース傘立てへ!

利用者アンケート
NIT SDGs リユース傘について、QRコードを読み取りアンケートにお答えください。また、ご意見ご要望等もお待ちしております。

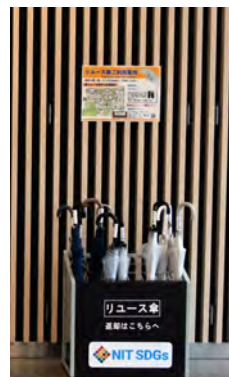
リユース傘ご利用案内



寄贈していただいた遊休傘 (492本)



傘のメンテナンス



本館ロビーの傘立て



リサイクルショップ

展示：3/31,4/1,4/3～8

配達：4/4～8

- 学生の手で3R -

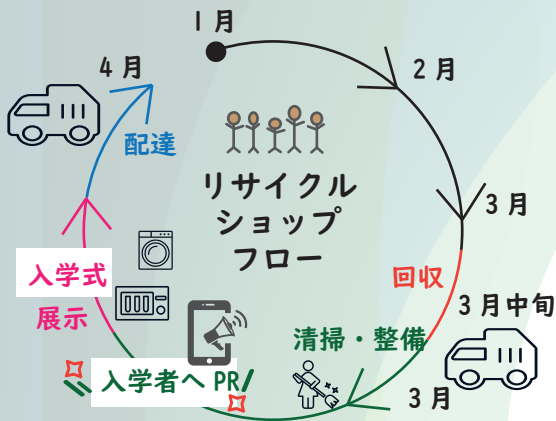


ごみを減らし、分別のルールを守って資源を有効活用し、資源循環型の社会を目指します。

私たち学生環境推進委員会の3R活動を紹介します。

リサイクルショップとは

2003年から行っている活動で、大学を卒業する学生や各研究室から使用済みの家具・家電を回収し、清掃・整備・展示を行い、希望する新入生へ無料で配達・配送をします。これにより、循環型社会を作るための3つのR:「Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)」の意識啓発に繋がります。今年の3月にはNHKをはじめ日本テレビ、TBSなどのニュース番組に取り上げられました。



開催会場 (W3棟)



食器類・ガス器具なども豊富

受付終了後は、配達希望者と日程調整等を行っています。



会場の様子



清掃の様子



メディアから取材を受けている様子



清掃済みの家具

NSCWeek

- 全国学生清掃週間 -



参加団体

- ・新潟県学生環境団体 (N- econet)
- ・湘南工科大学 学生ボランティア
- ・千葉大学
- ・日本工業大学 学生環境推進委員会 (E- にこっと)

スケジュール

- Day1 8/23 川と海辺の清掃活動【荒川河川敷・湘南の海】
- Day2 9/2 海辺の清掃活動【新潟 太夫浜】
- Day3 9/3 アート活動【新潟 海辺の森キャンプ場】
- Day4 9/19 活動報告・講演会【オンライン開催】

NSCWeekの活動目的は「海洋プラスチック問題」の課題解決です。新潟や千葉、神奈川、埼玉の大学生が、海洋プラスチックについての知識を習得し、実際に海岸や川辺の清掃活動を行うことで環境問題に貢献しています。



湘南：腰越海水浴場で回収したごみの分別作業



新潟：クラフト教室案内



荒川河川敷で回収したごみの分別作業



新潟：太夫浜での清掃活動



新潟：回収したプラスチックの洗浄作業



新潟：海洋プラスチックで制作したアート作品（海の活物）



開催日：11/12

参加人数：宮代町 37 名、杉戸町 42 名



海洋プラスチック勉強会



学生による説明

子ども大学とは宮代町・杉戸町の小学 4 年生～6 年生を対象にした埼玉県との連携事業です。今年度は、海洋プラスチック問題の課題解決に向けた勉強会と、プラスチックごみを再利用したキーホルダー製作を指導しました。



海洋プラスチックの問題に取り組む様子



廃プラスチックを使ったキーホルダー製作



令和 5 年度

大学生の力を活用した集落復興支援事業

- 只見町塩沢・十島地区 -

現地調査日：9/11～12 参加人数：11 名



現地調査：2022 年に復旧した「只見線」



現地調査：十島ビュースポット



現地調査：空き家



地域住民の方々と意見交換



現地調査：農業用ため池

福島県主催の集落支援事業に採択され、福島県の只見町塩沢・十島地区へ現地調査に行きました。参加学生は学生環境推進委員会のメンバーと有志の学生を含む 11 名です。現地では地域住民の方に集落を案内していただき、現地の抱える問題などを体感してきました。地域の方たちとの意見交換会では、どのように地域を活性化していくかをテーマに、活発な意見交換が行われました。



建築学科 2年 赤澤 颯 委員長

この度は、日本工業大学 学生環境推進委員会の活動報告書をご覧ください誠にありがとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染症対策も緩和され、昨年度よりも企業や他大学との交流などの対外的な活動を行う機会が多くあり、より積極性をもって企画に取り組むことができました。また入会者も増加傾向にあり、私たちの活動方針の一つである「学生に環境に関して興味を持ってもらう」を、徐々にですが実現できていると考えています。

私自身、一年生の後半から委員長を務め、至らない部分も多々ありますがメンバーと協力し活動する中で、自己の役割を全うすることができたと感じています。来年度も主体的に環境活動を行い、学生の環境意識向上や地域社会との連携を通じ活性化に尽力していきたいと考えていますので、今後とも当委員会をよろしくお願いたします。



X



Instagram

学生環境推進委員会室 クラブ棟 2F

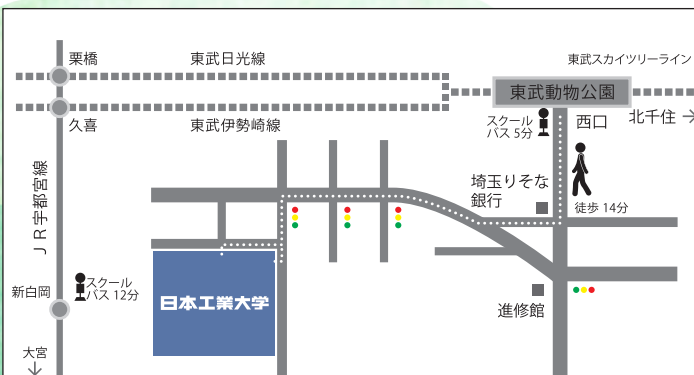


日本工業大学 学生自治会

学生環境推進委員会

E-Mail : sepc.nit@gmail.com

住 所 : 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1



◎東武スカイツリーライン「東武動物公園」駅までは

▶東京・北千住駅から27分 栃木・栃木駅から36分 東京・秋葉原駅から39分 千葉・西船橋駅から53分

◎JR宇都宮線・湘南新宿ライン「新白岡」駅までは

▶埼玉・大宮駅から17分 東京・新宿駅から46分 東京・渋谷駅から54分 栃木・宇都宮駅から57分

※乗換・待ち時間は含みません